

小学生が自ら防災無線で 呼びかけ！「見守りのお願い」

児童が下校する時間に流れる見守り放送は、日頃から見守り活動をしていただいている地域の皆さまに感謝の意を込めて、小学生自身の声で放送しています。今回は、萩ヶ丘小学校の児童に録音をしていただきました。録音した神谷青子さん（6年生）は、「とても楽しかったです。放送の機械が難しそうな物ばかりで、すごいと思いました。また機会があったらやってみみたいです」との感想を寄せてくれました。神谷さんによる放送は、6月末まで放送されます。

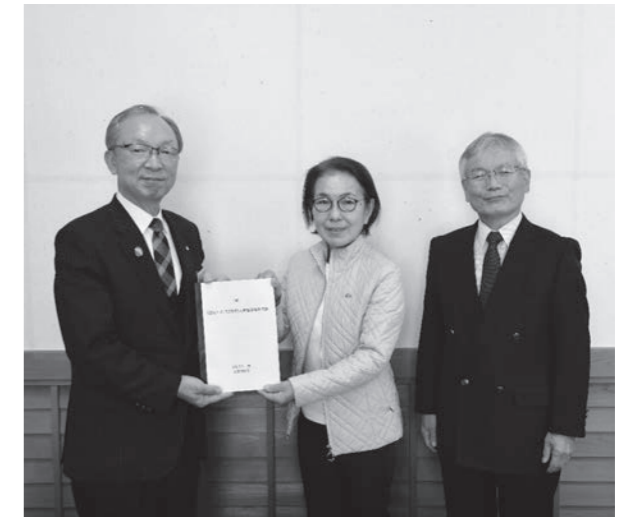


録音してくれた神谷さん。

写真説明

町人権施策基本方針を 改訂しました

町の人権施策基本方針が期間満了となるため、内容の改訂を行いました。改訂に当たっては、更なる人権意識の高揚を図り、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解消するため、人権政策協議会にて協議を重ねていただきました。令和5年度以降は、新しい基本方針に基づき、町が人権教育・啓発を総合的に推進します。



渡邊町長（写真左）に計画素案を手渡し、ときがわ町人権政策協議会の谷野裕子会長（同中央）と岡野和義副会長（同右）。

写真説明

白バイの技術に会場沸く 春の全国交通安全運動出発式

5月11日（日）、小川警察署とときがわ町、小川地方交通安全協会が共催の「令和5年春の全国交通安全運動出発式」が行われました。出発式の会場がときがわ町となるのは5年ぶりで、今回は役場本庁舎北側駐車場で催されました。式典では、小川警察署の白バイがスラローム走行を披露。その運転技術に、間近で見ている観覧者や保育園児たちから大きな歓声があがりました。



出発式では、参加者がパトロールカーや白バイが交通安全運動に出発する様子を見送りました。

写真説明

4年ぶりに旗を持ち練り歩く 大野の送神祭

4月9日（日）、大野神社にて埼玉県指定無形民俗文化財である「大野の送神祭」が行われました。このお祭りは、各家で小旗を作り、その旗に疫病の退散と今年の豊作の願いを込めます。今年は4年ぶりに境神（大字西平境）まで行列が練り歩きました。新緑に彩られた山と色とりどりの花々が迎える中、旗を掲げた一行は、笛や太鼓を先頭に「オークルワ、オークルワ、ハーヤリガミマツルゾ」の掛け声とともに、約4kmの道を進みました。



4年ぶりに実施された、送神祭の様子。

写真説明